

CONTENTS

- 会長挨拶
「社会に貢献する摂大土木会へ」
会長 新田 耕司 (摂大平成2年卒)
- 学科長挨拶
「JABEE継続審査を終えて」
都市環境工学科 教授 片桐 信
- 役員名簿
- [摂南大学土木会] 平成30年度 決算書・令和元年度 予算書
- 総会案内
- 準会員(学生)向けの特別講演会のご案内
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」
(一級建築士受験資格)認定条件
- 就任の挨拶
- 教室だより
- 令和元年度就職状況
- 私の近況報告
- 卒業生特集
貢献する土木技術
- 同窓会報告
- 退職記念講演会・祝賀会
- 技術士会だより
- 事務スタッフ紹介
- 在学生特集
テーマ「私の未来予想図」

寝屋川キャンパスに新グラウンド完成予定(2020年)



- 用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷



社会に貢献する摂大土木会へ

会長 新田 耕司（摂大平成2年卒）中央復建コンサルタンツ株式会社



令和元年台風15号、ならびに台風17号により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

昨年の会報で、「今年の漢字一文字」について触れました。昨年は、大阪北部地震、激甚災害に指定された西日本豪雨、関西国際空港を孤島にした台風21号、ブラックアウトを起こした北海道胆振東部地震、各地で観測史上最大の瞬間風速を記録した台風24号があり、正に『災』の一年でした。今年の土木学会全国大会のテーマは、『激甚化する自然災害、挑戦する土木』レジリエントな社会の構築に向けて』でした。その後、台風15号が猛威をふるい、首都圏で長期間停電が続くほど甚大な被害をもたらした、インフラの脆弱さが露呈しました。大きな自然災害が起こるたびに、『想定外』や、『50年（又は100年）に一度』という言葉が使われます。市民生活は、持続可能な安定が要求されます。安定した社会の基礎には安全・安心があり、その上で市民は初めて快適、豊かさ、幸せを感じる事ができます。土木技術者を学び、土木に携わっている者（土

木屋）は、想定外だから、50年に一度だからと言って、市民生活を脅かす事象を傍観しているわけにはいきません。我々には、これまでの経験と培った技術を駆使して想定外を想定内にし、被害を最小限に抑える使命があります。2015年の国連サミットで、17の目標と169のターゲットからなるSDGs（持続可能な開発目標）が採択されました。摂南大学土木会は、大学と社会を繋ぐとともに、卒業生が交流できる組織です。これからは、多方面で活躍されている卒業生と大学が連携しながら、変化する自然環境に対応できる強い社会の構築に、微力ながらも貢献できる機能も具備すべきだと考えています。今年で56年目になる本学土木会は、諸先輩方をはじめ、大学先生方のためめ努力の賜物です。そのDNAを引き継ぎつつ、社会に貢献し、在学生や卒業生が誇れる土木会を持続させたいと思います。本土木会においても身の丈に合ったSDGsを掲げる必要があると考えています。

本学土木会が社会に貢献できる機能を備え、持続できるよう今まで以上の皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

JABEE継続審査を終えて

都市環境工学科 教授 片桐 信



摂南大学土木会会員の皆様。平素は、学科の運営・教育にご理解頂き、また

多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年度4月より学科長を拝命いたしております。浅学非力で、いつまでも半人前でございますが、都市環境工学科の発展と学生諸君の育成に力を注いでいきたいと思っております。どうぞ、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い致します。

学科の状況ですが、就職状況は引き続き極めて良好で、昨年度の就職率は大学院進学者も含めて100%でありました。本年度も、順調に推移しております。今後は、公務員志望の学生が確定していく見込みです。また、近年では大学院への進学を、強く勧めておりますが、大学院進学者は徐々に増えております。より一層の大学院教育の強化を、推し進めてまいりたいと思います。

さて、昨年度はJABEE継続審査（2回目）の年度でありました。JABEE責任者の熊谷教授を中心に、学科をあげて審査に取り組みました。自己点検書と添付資料の作成は非常に労力を要する作業となりましたが、熊谷教授には特にご尽力いただき、よい資料

に仕上げる事が出来ました。実地審査でも、厳しい指摘はほとんどなく、非常によくできているシステムであるとの評価を得ることが出来ました。認定期間は2018年度から6年間です。JABEE認証プログラムに求められることは、プログラムの教育システムを活かして、社会が求める優秀な人材を輩出することです。しかし、要求される人材像は、刻々と変化しています。近年では、従来から求められているエンジニアリングデザイン能力に加えて、民族や価値観の多様性を理解する力と、異分野の人材と共同でプロジェクトを達成していく能力が求められています。また、近年の先端科学技術の進歩は目覚ましいものがあり、従来の縦割り行政的な学科分割では対応できないものとなっており、学部全体での対応の必要性も感じております。

従前の古典的学問を講義すれば良いという大学教授像からは、ずいぶんと変化した教育能力ならびに教育システム・環境が求められているのではないのでしょうか。

こうした社会の要請に応じて、建学の精神にもある「専門職業人の育成」に、学科全体として力を注いでまいります。引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

令和元年度 摂南大学土木会役員・評議員名簿【案】

*学内連絡係／**代表幹事／***副代表幹事／※代表評議員

名誉顧問	井上 治	同 上	田中 昌明(S48)	荒瀬美喜夫(S44)	坂上 敏彦(S54)	岡田 博志(H03)	中島 誉史(H18)
相談役	橋本 梯造(S42)	*** 同 上	城野 和夫(S50)	丸山 良夫(S44)	* 平尾 雅一(S54)	※ 佐々木 剛(H04)	藤田 雄三(H19)
同 上	森 俊介(S55)	同 上	北村 幸定(S56)	上柳 清志(S45)	石橋 源三(S55)	前田 泰秀(H05)	※ 東 唯(H20)
同 上	藤田 孝志(S55)	同 上	延永 稔仁(S50)	正本 実(S45)	山口 雅明(S55)	木村 隆幸(H06)	中川 佳祐(H21)
同 上	新井 栄作(S60)	** 同 上	中土井敬史(H7)	奥田日出男(S46)	北村 幸定(S56)	卜部 伸一(H07)	根木 沙織(H22)
役 員		同 上	中村 貴則(H10)	江原 光治(S47)	寺岡 國仁(S57)	水野 貴史(H08)	小笠原祐介(H23)
会 長	新田 耕司(H2)	同 上	坂本 圭(H10)	大畠 和夫(S47)	道山 長八(S57)	吉山 昌志(H09)	赤星 健太(H24)
副会長	西川 朝彦(S48)	会 計	石田 裕子	※ 城 幸一郎(S47)	松下 正寿(S58)	手嶋 正和(H10)	植田 友徳(H25)
同 上	青木葉隆典(S62)	同 上	小川 芳也(H14)	平峯 武志(S47)	木村 寿夫(S59)	山元 一平(H11)	川島 慶一(H25)
常任委員	片桐 信	監 査	伊藤 譲	塩沢 隆(S48)	宮川 尚三(S60)	亀井 義明(H12)	川口 雄大(H26)
同 上	熊谷樹一郎	同 上	眞鍋 育弘(S51)	万字 敦(S49)	岩崎 央(S61)	水島 裕幸(H12)	黒田 佳郎(H27)
同 上	熊野 知司	評議員		陰山 豊秀(S50)	※ 大野 幸一(S61)	高岡 栄二(H13)	中野 洋平(H28)
* 同 上	田中賢太郎(H13)		中野 昭雄(S39)	延永 稔仁(S50)	大橋 政広(S62)	福島 智行(H14)	合田 周平(H29)
同 上	寺本俊太郎		福田 富保(S40)	柴田 芳彦(S51)	高田 太(S62)	川勝 雄介(H15)	田中 達大(H30)
同 上	福島 徹		柴田 均(S42)	小西 隆夫(S52)	中野 茂(S63)	小山 裕貴(H15)	奥田 勝稀(H31)
同 上	佐藤 大作		中谷 利昭(S42)	池谷 力(S53)	森 光正(H01)	藤澤 博規(H16)	藤家 凌我(H31)
同 上	水野 忠雄		古川 忠彦(S43)	藤田 謙治(S54)	秋岡 宜和(H02)	亀岡 慎也(H17)	

【摂南大学土木会】平成30年度 決算書・令和元年度 予算書

平成30年度上期 決算(案) 平成30年4月1日から9月30日

▼平成30年4月1日現在 特別積立金390万円

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
前年度繰越金	848,403	848,403	事務費等	70,000	103
正会員入会金	690,000	610,000	同窓会補助	10,000	0
預金利息	150	9	役員会・評議員会費	50,000	0
			慶弔費・見舞金	30,000	0
			雑費	30,000	0
			会報発行費	0	32,445
			予備費	1,268,412	1,425,864
合計金額	1,538,553	1,458,412	合計金額	1,458,412	1,458,412

平成30年度 決算(案) 平成30年10月1日から令和元年9月30日

▼平成30年10月1日現在 特別積立金390万円

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
上半期繰越金	1,348,553	1,425,864	事務費等	140,000	34,698
正会員入会金(60名)	600,000	620,000	会報発行費	800,000	725,159
広告料(22社)	440,000	340,000	同窓会補助	30,000	0
預金利息	300	14	役員会・評議員会費	100,000	0
寄付金	0	54,000	慶弔費・見舞金	70,000	54,840
			雑費	30,000	16,554
			名簿追加修正費	30,000	29,000
			予備費	1,188,853	1,579,627
合計金額	2,388,853	2,439,878	合計金額	2,388,853	2,439,878

令和元年度 予算(案) 令和元年10月1日から令和2年9月30日

▼令和元年9月30日現在 特別積立金390万円

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算	科 目	予 算
前年度繰越金	1,579,627	事務費等	140,000
正会員入会金(56名)	560,000	会報発行費	800,000
広告料(22社)	440,000	同窓会補助	80,000
預金利息	100	役員会・評議員会費	100,000
		総会費	400,000
		特別講演会(2人分)	100,000
		ホームページ製作費	650,000
		ホームページ維持管理費	120,000
		慶弔費・見舞金	70,000
		雑費	30,000
		名簿追加修正費	30,000
		予備費	59,727
合計金額	2,579,727	合計金額	2,579,727

イビデングリーンテックは、
人と自然の共生、
調和のとれた地球環境を創造する企業です。

当社は、「緑化＝グリーンビジネス」を
事業の柱として、主に「法面事業」、
「造園事業」、「建設事業」の3事業を
展開しています。

ig イビデングリーンテック 株式会社
http://www.ibiden-greentec.co.jp

【本 社】〒503-0021 岐阜県大垣市河間町3-55
TEL 0584-81-6111 FAX 0584-74-1971
【関西支店】〒651-0072 神戸市中央区船場町2-11-14
(現代神戸ビル4F)
TEL 078-291-5585 FAX 078-291-5586

inai conex
アイナ イコネックス

鋼道路橋の補修・補強設計業務はお任せください。

正社員募集中！

インフラの再整備が進み、受注件数も増加しています。
設計者としての第一歩を踏み出してみませんか？

inai conex 株式会社
代表取締役 **弓倉 啓右**
長谷川 望 (平成14年3月卒業)
桶川 雅斗 (平成23年3月卒業)

〒552-0001 大阪市港区波除3-1-18 藤田ビル5階
TEL 06-6583-5499
http://www.inai-conex.co.jp/

ご案内

令和元年度 摂南大学土木会総会

令和元年度総会を下記日程で開催いたします。ぜひ旧友とご連絡をお取りいただき、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

- と き：令和元年11月30日(土)
 ○15:00～16:00
 特別講演：『～流れに身を任せた人生を振り返って～』
 発表者：大島技術コンサルタント株式会社 大島 正樹 様
 ○16:15～16:45 令和元年度総会
 ○17:15～19:15 懇親パーティー
- ところ：(特別講演、総会)
 大阪工業大学梅田キャンパス 2階 会議室 202教室
 (懇親パーティー)
 大阪工業大学梅田キャンパス 21階 リストランテ翔 特別室(入って右側)
- 会 費：3,000円

準会員(学生)向けの 特別講演会の ご案内

- と き：令和元年10月26日(土)
 13:00～14:00
 (摂南大学寝屋川キャンパス
 12号館4階1241教室)
- 特別講演：『土木工事の施工について
 (鉄道関連工事に例えて)』
- 発表者：大鉄工業株式会社 青木 隆典 先生

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件^{※1}

入学年(西暦)	入学年(平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する ^{※3} 。
2003	15		
2004	16		
2005	17		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{※3} 。
2006	18		
2007	19		平成21年度から開講の「建築設計製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{※3} 。
2008	20		
2009以降	21以降		認定されない。 ^{※4}

※1：一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。

※2：卒業後に対象科目の単位取得を行った場合も実務経験の起算日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては教務課に問い合わせください。

※3：卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになりました。ただし、他大学で科目を修得するにあたって、受講予定の授業内容と本学の「建築設計製図1」の内容が一致しているかどうかについては、主管庁の国土交通省、建築技術教育普及センター、本学においても事前には一切回答いたしません。申請者が一級建築士の受験申請をする際に初めて国土交通省で審査されます。

※4：2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

大阪市内より30分圏内の
 緑豊かなお墓地をご案内いたします。
 お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。
 お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

(株) 太田 石材 店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号
 TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

総持寺霊園(茨木市) 服部徳風墓地(豊中市)
 隆国寺墓地(吹田市) 竜の子霊園(奈良県)
 海印寺墓地(長岡京市) 玉手山墓園(柏原市)
 王寺霊園(奈良県) 飯盛メモリアルパーク(四條畷市)
 東本願寺天満別院(北区) 飯盛霊園(四條畷市)
 北摂霊園(豊能郡) その他公営墓地
 真龍寺霊園(茨木市)



有限会社
 ウィルコンサルタント

現場のお悩みをお聞きしてお聞きして、さらにお聞きして、
 お客様自身が解決できる。そんなご提案でお答え致します。



【本店】
 京都府相模野市光台3丁目2番地6
 電話 0774-27-6946 Fax 0774-98-2085

【神奈川支店】
 神奈川県相模原市中央区上溝 25-48
 電話 090-5014-1396 (代表取締役 柴田芳彦)

KAIKEN—街づくりの総合コンサルタント

【企業理念】

建設に係る技術力をもって社会に貢献すること



株式会社 開発計画研究所

代表取締役

井上 忍

(昭和44年3月卒業)

事務所：東京・水戸

TEL 03-5828-6855

小田卓朗(社員) 平昌オリンピック出場

・スピードスケート 1,000m 1,500m 5位

・帰山雄太 第73回国民体育大会 優勝



建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤山1福田829-1

〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)

FAX 0867-66-3674

URL: http://www.ogcflight.co.jp

就任の挨拶

2019年4月1日に都市環境工学科に准教授として着任致しました、佐藤大作と申します。以前は、東京電機大学で教育・研究に携わっておりました。専門は海岸工学、環境水理学です。沿岸部における波浪変形や海浜変形に興味を持っており、特に南太平洋に位置するマーシャル諸島共和国やツバルといった環境とされる島を対象に、海面上昇の影響も含めた海岸地形保全に関する研究を長く行ってきました。また、ダムや湖沼などの停滞性水域における温度成層の混合改善手法の開発といった、水工学に近い分野についても最近では研究を進めています。前職は助教という職階でしたが、2016年度から独立した研究室を運営しておりました。まだ研究室としては日が浅く、不慣れな部分もありますが、都市環境工学科でも活発な研究活動を進めていきたいと考えています。



准教授 佐藤 大作

本年度4月1日に着任してから、「水圏工学研究室」という名称で研究室がスタートし、着任と同時に5名の卒研究生が配属となりました。配属された卒研究生は皆、大変個性的で、非常ににぎやかな研究室となっております。本研究室では、1人1つの研究テーマを持ち、各個人で研究に取り組むスタイルとしています。自分の興味があるテーマに取り組んでもらいたいという考えから、自分で研究テーマを考えてもらいました。「私はフィリピンが好きだから、フィリピンを対象とした研究がしたい」ですとか、「自分の地元に関連する研究テーマにしたい」だったり、ついには「何かかつこいことがしたいんですが」といった様子で、これは研究テーマを決めるのも大仕事だと思っておりましたが、相談を繰り返し何とか取り組む研究テーマが決定しました。内容としては、河川氾濫、高潮、津波×2、画像解析といったものになり、現在は個々で必要となるデータの収集や解析に必要となるプログラミング言語の勉強、また、既往の文献の収集整理とだんだんと研究活動が本格化してきているところです。個人で研究に取り組むわけですが、研究室としては1つのチームです。お互いの研究に興味を持ち、口を出すこと（出されること）も研究活動では大切ですし、ある時には協力してデータ整理などが必要になることと思います。研究室内で活発なコミュニケーションが生まれるように、これから半年間の研究室運営を行っていききたいと考えています。

2019年4月1日付で摂南大学理工学部都市環境工学科に着任いたしました水野忠雄です。環境衛生工学研究室を担当させていただきます。



准教授 水野 忠雄

前職の八木俊策先生、前々任の海老瀬潜一先生は京都大学の先輩であり、さらに海老瀬先生におかれましては研究室の先輩にもあたるということで何がしかの縁を感じるとともに、身の引き締まる思いです。3月までの京都大学大学院在職中には、2005年10月より3年半の間、中華人民共和国広東省深圳市にて清华大学との共同研究・教育センター立ち上げのため常駐しておりました。皆様ご存知の通り、深圳市は経済特区が最初に置かれた都市（現在は市全体が特区）で、駐在時も非常に発展著しい都市でしたが、リーマンショックを経て、現在はイノベーション・金融の都市として、さらにその発展の勢いが増している印象です。当時は地下鉄も開業したばかりで、二線の一部のみでしたが、現在では十以上の路線が市内にはりめぐらされています。また、雨後の筍のようにあらゆる地区に次々と高層建築物が建設され、昨年には港珠澳（香港、珠海、澳門）大橋も開通し、深圳、香港を中心とする地域は、まさに土木・建設事業の宝庫と言ってもよいかもしれません。私自身は環境分野で、主にオゾンや促進酸化処理を用いた上水、下水、産業廃水などの水処理技術の開発、運転制御の最適化、設計操作条件の提案のための研究を行ってきました。学生さんには、ぜひ我々、土木・環境業界の幅広さ、奥深さ、面白さを知ってもらい、夢を持って取り組んでもらえるよう、努力していきたいと考えています。最後になりましたが、摂南大学着任と同時に栄えある摂南大学土木会会員として認めていただいているという事で大変光栄でございます。摂南大学、摂土会の益々の発展に貢献できるよう、微力ではありますが尽力させていただきますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

KUMONOS
コーポレーション

世界の未来を
測る技術

卒業生

猪木浩之 土木工学科H4卒業
黒田清紀 土木工学科H3卒業
武末和志 土木工学科H15卒業

<https://www.kankou.co.jp/>



まちのコントラクター
荻田建設工業株式会社

代表取締役 荻田 孝太郎

ISO9001 本 社 〒660-0087
ISO14001

尼崎市平左衛門町18番31号
TEL (06)6419-2981 (代表)

ホームページ : <http://karitakensetu.com>

三田営業所 三田市天神1丁目2-12

TEL (079)563-0095

教室だより

都市環境工学科 准教授 田中 賢太郎

今年度、都市環境工学科には、1年次64名(10名)、2年次88名(9名)、3年次82名(7名)、4年次56名(3名)で合計290名(29名)の学生が学んでいます。なお、括弧内の数値は女子学生を示します。大学院の社会開発工学専攻における学科出身者は、1年次5名、2年次7名です。片桐 信 教授が学科長として学科運営に当たり、教職員は専任10名、非常勤30名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導を行っています。

学科の専門科目で、都市環境基礎ゼミⅡの中で、「P-1グランプリ」というコンテスト形式の授業を展開しています。ペーパーを用いて製作する橋梁模型の強度コンテスト(構造部門)および工夫点をアピールするプレゼン審査(プレゼン部門)を実施しています。今年度は、「デザイン部門」を設け、強度が低くても意匠の優れる橋梁も表彰対象としました。これにより、最終的な表彰は①構造部門、②プレゼン部門、③デザイン部門の3種類となりました。2018年度 P-1グランプリは、2019年1月10日(自分たちの模型の特徴などをパワーポイントによる発表)および1月17日(強度コンテスト)に実施しました。デザイン投票は、プレゼンをした後から5日間と設定しました。その中で種々の模型で新しい発想が見られ、個性的なモデルや強度が高い模型が増えてきてます。学生の様子を見ると、参加意欲も比例して上昇しているのではないかと思います。その結果、構造部門の優勝は石田ゼミ、準優勝は八木ゼミ、プレゼン部門の優勝は熊野ゼミ、準優勝は片桐ゼミ、デザイン部門の優勝は片桐ゼミ、準優勝は石田ゼミとなりました。



模型例



プレゼン発表の状況

学科主催の行事として、2018年10月10日に実施した講演会および現場見学会について報告させていただきます。講演会では、1年生および3年生合同で実施し、大阪府

都市整備部の方のご協力を得て、土木系公務員の職務、土木全般の維持管理についてご講演いただきました。最後に、質疑応答の時間があり、学生たちは積極的に質問してありました。

現場見学会は、1年生は2箇所(①人と防災未来センター、②琵琶湖疏水記念館)に、3年生は3箇所(①天ヶ瀬ダム再開発事業、②NEXCO総研緑化技術センター、③阪神間都市計画整備事業 園田西武庫線 立体交差工事)にわかれて現場を見学しました。参加した学生は、建設現場の魅力や土木技術者の役割を肌で感じているようでした。また、損土会を通じて、阪神間都市計画整備事業 園田西武庫線 立体交差工事(案内:西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 施設課 土木協議 中土井敬史様)の見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。



大阪府都市整備部 ご講演



天ヶ瀬ダム再開発事業(3年生)



NEXCO総研緑化技術センター(3年生)



阪神間都市計画整備事業 園田西武庫線 立体交差工事(3年生)

Japan Asia Group 国際航業

地理空間情報技術を活用し、安心で安全、そして持続可能なまちづくりを先導します。



国際航業株式会社 西日本支社 関西事業所
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 1-1-15
TEL:06-6487-1111 <http://www.kkc.co.jp/>






環境を創造する
Potential of Concrete

KCON

コンクリートで+αの
可能性を広げる

ゲイコン株式会社
プレキャストコンクリート製品
開発・設計・施工・製造・販売・総合建設業

【本社】
〒613-0903
京都市伏見区淀本町225
TEL:075-631-3231
FAX:075-631-9588

【大阪営業所】
〒540-0012
大阪市中央区谷町1丁目7番4号
8F 営業部:364F
TEL:06-6943-7345
FAX:06-6943-7348
<http://www.kcon.co.jp>

加熱する就職活動と採用活動

都市環境工学科 准教授 石田 裕子

本年度の就職状況は、9月11日（水）現在で学部4年生56名、大学院2年生6名のうち内定／確定率が75・8%、内定率だけみると83・9%となっています。内訳は、ゼネコン・専門工事会社が23名、コンサルタント17名、大学院進学3名、公務員7名、鉄道1名、設備会社1名です。一方、未内定者の内訳は、公務員志望6名、民間（活動中、異業種含む）3名、大学院進学1名という状況です。9月14日に実施される大学院入試は、公務員・民間企業の内定者、公務員志望との併願者も合わせて、4名が受験しました。例年は、ゼネコン志望者が多いのですが、今年度の傾向として、コンサルタントや公務員を志望する学生が多い結果となりました。また、理工学部全体の取組みもあり、年々大学院進学が増えています。

建設分野においては、昨年度に引き続き、技術者が足りていないなかで、昨年度以上に各企業の採用活動が加速しました。昨年10月から企業の人事担当者の方々や卒業生のみなさまの来校が相次ぎ、学生たちが1DAYインターンシップや現場見学会に参加する機会も増えました。学生が採用試験を受けに行けば、受けに行ったすべての企業から内定をいただくという、就職担当教員としては大変気持ちの良い就職シーズンでした。

各企業の採用意欲が高い一方で、自己分析や企業研究を十分にしない間に内定をいただき、結局何がしたいのかわからず何社もの内定をいただきながら辞退する学生が増えたのも今年度の傾向です。学生たちには各企業への入社後も知識・技術の向上を目指し、日々努力し続けてほしいと思います。

各企業のみなさまにおかれましては、採用活動では厳しい目で学生をご判断いただき、学生たちが浮つくことなく就職活動に取り組むようご指導いただきたく存じます。また、引き続き本学科の就職支援にご協力賜りますようお願い申し上げます。

次世代へ、いつまでも変わらぬ思い。



「線路」、「土木」、「建築」の3部門が力を集結し、社会を支えるプロジェクトを遂行しています。

卒業生33名在籍
〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番15号 <http://www.daitetsu.co.jp/>

DAITETSU JR西日本グループ 大鉄工業株式会社

「助かる命をむだにしない」

自然災害調査、地盤調査、各種構造物施設点検
全国各地での地盤防災についての講演
地盤防災士の育成、防災教育の普及と啓蒙活動

地盤を学び災害から身を守る技術を提供します

一般社団法人 地盤診断機構

代表理事 田中 昌明(昭和48年卒)
大阪事務局(株式会社コスモテック内)
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-10-703
TEL:06-6942-0808 FAX:06-6942-0909
E-mail: info@jsk-jiban.com URL: <http://www.jsk-jiban.com>

地盤防災ジャパン



創造力と総合力でお客様のニーズにお応えします

CFKは社会の様々な要請に応えるべく、健全な企業経営のもと優秀な技術者が大いに活躍できる場を確保し、技術力の研鑽とともに、人材育成や働きやすい職場環境づくりに力を注いでいます。

<http://www.cfk.co.jp/>

CFK 中央復建コンサルタンツ株式会社
CREATING A BETTER KNOWLEDGE

【本社】
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL:06-6160-1121 FAX:06-6160-1127

【東京本社】
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-13
TEL:03-3511-2001 FAX:03-3511-2031

アルミでつくる
まちづくり



株式会社 住軽日軽エンジニアリング

本 社 / 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13 新永ビル TEL:03-5628-8510
大阪支店 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL:06-6223-3561

<http://www.sne.co.jp/>

私の近況報告

私は摂南大学を退職して、20年になります。高齢になりましたが元気に過ごしています。

最近の正会員の活躍と健康寿命について報告し私の近況報告と致します。

1. 地盤工学会受賞

正会員の北村明洋(摂大昭和54年3月卒業)君が、平成30年6月に地盤工学会から技術開発賞を受賞されました。この技術は山間地の斜面や河川の護岸災害に早期に災害復旧する円筒金網とチェーンを用いた工法の技術開発です。

近年日本各地で地盤災害が起き尊い命を失ったことが報道されています。

この研究はこれからの社会に寄与するものと思います。彼の活躍を会員の皆様と共に喜びたいと思います。

2. 健康寿命

私は10年前地区の老人会に入会しました。2年

摂南大学 土木会名誉顧問・元教員 井上 治

目から保健委員に就き、役所が主催する研修会に参加し皆さんに報告するのが役目でした。この研修から学んだことは自分の健康は自身で健康法を考えることでした。

本年度の研修テーマは「寝たきりにならないための医療と介護」で、内容は健康寿命を延ばし、平均寿命との差をチヂメル(縮める)ためにはどうすればよいか。健康寿命は自立して生活できる年齢を指すもので、男女で差がありますが、平均して74歳程度です。平均寿命とは大きな開きがあります。高齢者の健康は社会保険保障制度などにも課題が多いように思われます。私はこれまで8年の研修を受けて健康法3原則を作り、実行しています。1. バランスの取れた食事 2. 運動する 3. 睡眠です。私の健康寿命は現代84歳です。明日に向けて努力しています。



常盤工業株式会社

日本の道を愛して
和と情でつなぐ、日本の心。
(tokiwa-industry)

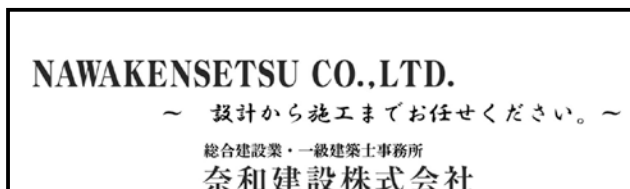
【本社】 〒102-8182 東京都千代田区九段北4-2-38 TEL:03-3262-9181 FAX:03-3262-9200	【大阪支店】 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-3-27 TEL:06-6942-1507 FAX:06-6942-1500
---	---



土木構造物の専門技術者集団
鉄道/道路構造物の設計および各種土木構造物の維持管理
将来にわたり、高度な技術力と豊かな経験を次世代の技術者に継承します

中央復建デザインプラス株式会社 Since 2017
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10 TEL 06-6160-1135
E-MAIL info-cfkdp@cfk.co.jp WEBSITE www.cfkdp.com

cfkdp 検索 DESIGN PLUS



NAWAKENSETSU CO., LTD.
～ 設計から施工までお任せください。～
総合建設業・一級建築士事務所
奈和建設株式会社

本 社	〒648-0037 和歌山県橋本市賢堂1114-1 TEL 0736-32-3733 FAX 0736-33-3217
和歌山支店	〒641-0014 和歌山県和歌山市毛見1508 TEL 073-488-3667 FAX 073-488-3668

N A W A Group
株式会社イスイエコシステム
和歌山県橋本市神野々40-3
株式会社N A W A
和歌山県海南市下津町方246
株式会社志進商事
和歌山県橋本市賢堂1114-3

ISO 9001 認証取得
ISO 14001 認証取得



思いを新たに
創業者・浅野総一郎は
“人間の目的は「死んだ後まで社会を益すること」を志すにある”
という言葉を残しました。
私たちは創業の志を忘れることなく、
未来に向かって歩んでまいります。

東亜建設工業 TOA CORPORATION
〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

防災・減災（河川）等の取り組み

国土交通省 常陸河川国道事務所

角野 旧姓吉村 英雄 撰大昭和60年卒



防災・減災（河川）等の取り組みについて紹介します。近年水害が日本全国で発生しています。きっかけになったのが平成27年9月の関東東北豪雨において鬼怒川の洪水（茨城県常総市）により逃げ遅れの住民が発生したことです。当時、私は常陸河川国道事務所（茨城県水戸市）に勤務していましたが、鬼怒川の堤防が破堤後に常総市の応援隊（リエゾン）として派遣されました。市役所の廻りの道路も最初は、50 cm くらいの冠水が2 m まで達し、当時の市役所は、避難所になっていましたが、何も出来ない状況でした。その後茨城県筑西市に勤務し、平成29年4月より、常陸河川国道事務所の水防の担当官と勤務しております。平成29年6月に水防法の改正で大規模氾濫協議会を設置し、これから5年間でハード対策（河川管理者）、ソフト（防災関係機関）が一体となって、住民の逃げ遅れゼロを目指すものです。メンバーは、国（河川管理者、気象台）、都道府県、市町村等の防災関係機関です。なぜ、このような取り組みを行っているかは、平成27年以降、多発している大規模水害により、住民の逃げ遅れが発生し、河川管理者、防災関係機関が一体となって住民への逃げ遅れゼロを目指すものです。これまでは、各行政機関ごとに水防対策を行っており、各行政機関の取り組みが明確ではなかったからです。現在、河川管理者は、市町村の防災関係機関のソフト対策の支援を行っています。特に市町村や自主防災会、自治会等の訓練等で住民向けに避難の重要性、洪水ハザードマップの確認等支援しています。私は、昭和60年卒業生です。当時は、ものづくりが中心でした。行政、住民、業界の皆様が一体となった取り組みが必要です。建設業界も益々厳しい状況ですが、会員の皆様の御活躍期待しております。

勤務24年振り返り

ケイコン株式会社 関西本店

平森 充洋（撰大平成7年卒）



私は、平成7年3月に撰南大学を卒業、同年4月にケイコン（株）に入社し、現在24年が経ちました。弊社では、建設工事部門とプレキャストコンクリート製品部門があり、私は、入社から現在までコンクリート製品部門に従事してまいりました。始めの10年は、研究開発課に所属し、コンクリート製品の新規開発や製造工場の技術支援を行ってまいりました。その後13年間、工場に勤務し、製品の生産管理、安全管理などを経験し、現在は工場と営業の両方に携わっております。

この機会に振り返りますと、どの部署の経験でも同じですが、仕事は一人では出来ず、周りの人に支えてもらって成り立っていることを実感しております。特に工場勤務では、ものづくりをしていく過程で、多くの関係者、協力会社の方に触れあい、共に同じ目標に向かって業務を進めて行きます。工場勤務の始めのころは、周りのことが見えておらず、自分勝手なパスを出し、周りに迷惑を掛けたり、喧嘩したりしたことも多々ありました。

何年か経つと、仕事の流れが掴め、気配りの仕方やパスの出し方もなんとなく分かるようになります。その思いやりが信頼に変わることを感じました。まだまだ勉強中ですが、一人でも多くの人と関わり、信頼が得られるよう精進しているところでございます。

今後、プレキャストコンクリート製品の業界では、Iコンストラクションの恩恵もあり、仕事が忙しくなりそうなる予感がしております。そんな中、撰大卒業生の方々にお仕事でお会いすることが出来ればと楽しみにしております。

宇治市役所に入庁して経験したこと

宇治市役所

岩間 一斗（撰大平成29年卒）



私は平成29年3月に撰南大学を卒業し、同年4月に宇治市役所に入庁しました。現在は入庁して3年目になりますが、これまでの経験について、ご報告させていただきます。

宇治市は、京都盆地の南東部に位置し、北は京都市、西は久御山町、南は城陽市、東は宇治田原町・滋賀県大津市と各々接しております。また、宇治市にはユネスコ世界遺産ともなっている平等院表参道、宇治上神社等の文化財や宇治茶等の特産品があり、文化的景観にも優れている都市であります。

現在、宇治市の目指す都市として、豊かな自然や歴史・文化遺産を守り育て未来へと引き継いでいくこと・そこに住む人々が誇りと愛着を感じることで「ふるさと宇治」を創造していくことを理念とし、「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を目指す都市像としています。

私は、入庁当時から現在に至るまで都市計画課で勤務しております。我々、都市計画課では我々の暮らすまちを将来どのようにしていきたいのか、都市づくりの目標を定め、その目標を実現させるための方針を定める「都市計画マスタープラン」の策定や、まちづくりへの市民参加、景観の形成及び開発事業の調整に関する条例等を所管・運用することで、良好な居住環境の整備・景観の形成を目指して、日々業務に努めております。

都市計画の業務は多岐に渡りますが、その中でも私が担当させて頂いている業務は、主に拠点整備でございます。私が担当させて頂いた拠点整備事業は、都市再生整備計画事業と言い、国からの補助金（社会資本整備総合交付金）制度を用いて、整備事業を行います。この事業の特徴として、PDCAサイクルが挙げられます。これは、地域が抱えている課題やまちづくりのビジョンに基づき、目標等を設定・計画（Plan）し、計画に基づき事業を実施（Do）、事業終了後に目標の達成度を評価（Check）し、必要な改善点を改善（Action）する。というサイクルのもと、実施されております。

私がこの仕事を通して感じたのは、自らが市の大事な事業に関わり、一つの地域をよりよい環境に整備出来るよう計画から整備に至るまで携われるというのは、この公務員という職業の魅力ではないかと思えました。

最後に、公務員は市民の方々がまちづくりを求めておられるかを一番身近に感じることで出来る職業です。人々に寄り添い、人々と共に、地域の未来を描いていく。そんな撰大生とお会い出来ることを楽しみにしております。

同窓会報告

岸野 光都(土木工学科10期生、昭和51年卒)

高専昭和51年卒及び摂大等に編入した仲間が3回目の同窓会を令和元年7月13日にOIT梅田タワー・レストランテ翔21にて行いました。参加者は32名、遠方は山口県、近畿一円から集まり、幹事長の開会のあいさつに先立ち、亡くなられた数名の同級生及び恩師に対し哀悼の意を表し黙祷から始め、定年後の余生を楽しんでいるもの、まだまだ仕事に興味で活躍しているものとお互いの話が盛り上がり、話が尽きないうちに楽しいひと時を限られた時間の中で過ごしました。4回目もこのメンバー以上の参加を誓い解散しました。皆様お疲れ様でした。なお、費用の一部を摂南大学土木会から同窓会補助を受けました。ここに記して感謝申し上げます。



摂南大学都市環境工学科地域環境計画研究室20周年記念パーティー

山本 純平(都市環境工学科、H30年卒)

令和元年9月22日(日)18時より大阪工業大学梅田キャンパス最上階「レストランテ翔21」にて地域環境計画研究室20周年記念パーティーを開催いたしました。

パーティーには熊谷樹一郎先生をはじめ地域環境計画研究室の1期生から21期生の46名が出席しました。卒業生による開会の宣言に続いて、熊谷先生から挨拶があり、20周年についてのお話がありました。乾杯の音頭の後、在学生の紹介や現在の大学の状況および研究室の紹介などがあり、寝屋川キャンパスの前に立地していた日本ペイントの敷地がスタジアムになることなどに驚きの声を上げる人もいました。さらに、卒業生作成の20年の歴史や研究内容をまとめたムービーを上映しました。これまでの研究室の歴史を振り返る良い機会になり、学生時代を懐かしむ人も多かったのではないかと思います。その後は、卒業生から先生へのお祝いの言葉や各々思い出話に花を咲かせる時間となりました。最後に参加者全員で記念撮影をしたところで、これまでの時間を惜しみながらも20時頃にお開きとなりました。20周年記念パーティーは卒業生および在学生により企画・運営されました。また、費用の一部を摂南大学土木会から同窓会補助を受けました。ここに記して感謝申し上げます。



八木俊策先生・瀬良昌憲先生 退職記念講演会および祝賀会開催報告

八木・瀬良ゼミ祝賀会 開催報告

八木俊策先生・瀬良昌憲先生の退職記念講演会及び祝賀会が平成31年3月23日(土)に摂南大学寝屋川キャンパスにおいて多数の出席者の中で開催されました。

講演会では八木先生・瀬良先生共にこれまでの経歴を踏まえたエピソードや研究内容についてご講演いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

祝賀会は、理工学部都市環境工学科学科長の片桐信先生の挨拶に始まり、八木紀一郎学長の祝辞、八木俊策先生・瀬良昌憲先生からのご挨拶を頂いてから、ご参加頂きました皆様でしばらくの間ご歓談をお楽しみいただきました。ご歓談の後には、八木ゼミ・瀬良ゼミの卒業生から、両先生方へ祝辞を頂きました。

祝賀会の後半には先生方への花束・記念品贈呈を行い、大変喜んで頂きました。最後に八木俊策先生・瀬良昌憲先生を囲むように、ご参加頂いた皆様で記念撮影を行い、

閉会となりました。

最後に、八木俊策先生・瀬良昌憲先生におかれましては長年、ご指導ご鞭撻頂き、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。今後のご健康とご活躍を祈念致しまして八木俊策先生・瀬良昌憲先生の退職記念祝賀会の報告とさせていただきます。



事務スタッフ紹介

清藤 果林



はじめまして。4月から都市環境工学科で勤務しております清藤と申します。

これまで事務の仕事をしていましたがが学校事務は未経験で、はじめは戸惑うことも多く不安もありましたが、先生方や準備室スタッフの方々にいつも優しく教えていただき、今ではとても楽しく勤務させていただいていることに感謝しております。

私には娘と息子がおります。上の娘がちょうど学生たちと同じ位の年頃ということもあり、日々学生達の学ぶ姿や、友達と楽しそうに過ごしている姿がとても微笑ましく、見ている私まで元氣をもらっています。

これからまた後期が始まり、先生方や準備室スタッフの方々にはご迷惑をおかけすることも多くあるかと思いますが、早く仕事を覚えて精一杯サポート出来るよう頑張ってお参りますので、よろしくお願い致します。

技術士会だより

会長 木下 幸佐(摂大昭和57年卒)

『技術士会へ入会しよう』

技術士会は、平成14年2月の発足以来18年目を迎えました。摂南大学卒業生で技術士・技術士補の方を正会員とし、在校生で技術士第一次試験合格者を準会員として構成し、会員数も74名(内技術士49名)となりました。

技術士会では毎年総会を実施し、その折りには特別講演会を開催して技術の研鑽に勤しんでおります。また年2回の会員相互の親睦会や、在学生に対する技術士第一次試験受験セミナーの開催を行っております。

平成20年からは、大学技術士会連絡協議会のメンバーとして、大学相互の技術士会の連携・啓発活動に参画しております。

摂南大学卒業生の皆様方の中で、技術士および技術士補をお持ちの方は是非、技術士会への入会をお願いします。

技術士会のHPより連絡をお願いします。

会員相互の連携と親睦をはかり、微力ながら母校の発展に尽力しましょう。

昨年7月以降に寄付いただいた方を今号にてご紹介いたします。

(令和元年 9月現在 敬称略・順不同)

合計 54,000円	林 義宜 (昭和60年卒)	坂 口雅宣 (平成10年卒)	門 倉弘延 (平成29年卒)	金 子剛 (平成18年卒)	井 上英夫 (昭和42年卒)	吉 田隆 (昭和51年卒)	目 良敏 (昭和47年卒)	本 間祐樹 (平成16年卒)	池 藤博 (平成4年卒)	近 江裕輔 (平成30年卒)	岡 本徹 (平成3年卒)	細 木誠 (昭和57年卒)	江 原光治 (昭和47年卒)	西 村正道 (昭和62年卒)	足 立博成 (昭和50年卒)	大 島正樹 (昭和42年卒)	奥 村良太 (平成28年卒)	圓 尾芳裕 (平成6年卒)
---------------	---------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	--------------------	----------------------	--------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------

未来を見据え このまちをささえる

総合建設コンサルタント



株式会社 日本インシーク

「株式会社アスコ大東」は「株式会社日本インシーク」へ社名を変更しました。



■大阪本社
〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14
TEL.06-6282-0310 FAX.06-6282-0331

■東京本社
〒103-0006 東京都中央区日本橋富町9-19
TEL.03-5641-2181 FAX.03-5641-2187

■神戸支社 ■奈良支社

<https://www.insiek.co.jp/>

株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント
道路、河川・砂防及び海岸・海洋
都市計画及び地方計画
下水道、施工管理、発注者支援

測量
測量全般、鉄道測量(JR)

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)

〒611-0041 京都府宇治市横島町夜3番地の2

TEL 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966

E-mail:nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp

<http://nissho-engineer.co.jp>

支店、営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所

HC 21世紀をグローバルに拓く 株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・建設コンサルタント業 第8662号
- ・地質調査業 第1760号
- ・測量業 第14744号
- ・土壌汚染指定調査機関 環 2003-2-30

代表取締役 花村 浩司(高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦9-8

TEL(0774)21-5067 FAX(0774)21-5068

大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三319

TEL(06)6764-7438 FAX(06)6764-7439

The great power of water



日進機工株式会社

NISSIN KIKO

＜ウォータージェット工法のパイオニア＞

日進機工は、お客様の生産設備・インフラを最適な状態で維持・管理、していく事で、お客様の生産性を向上させ、コスト削減に貢献する会社です。あらゆる産業・業種に精通する技術力と、常に高い品質・信頼性を誇るウォータージェット工法の専門技術を駆使し、お客様の設備・インフラのメンテナンス・修理・改修を全力でサポートいたします。

お客様が困ったとき必ず力になれる会社、それが「日進機工」です。

本社 〒463-0808
愛知県名古屋市中区栄町2丁目401番地
TEL 052-739-2771 / FAX 052-739-2671
代表取締役 市原 久照
営業所 東京支店・大阪支店・九州支店・東海支店・東北支店 他
URL <http://nissinkiko.com/>

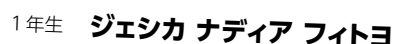
＜事業内容：土木関連工事＞
コンクリート工、鉄骨工、トンネル天吊補修工事
高速道路橋脚・橋脚補修工事、高速道路橋脚補修工事 他
その他多岐に渡る工事・現場にて工事実施中



多くの可能性を



ありません。例えば、職に就いてから、打ち込むことや家庭を持って子供に恵まれること、両親に親孝行をすること、趣味を見つけて楽しみを作ることなど漠然とした理想はあります。また、この先何かに興味を持った時のために、今できることはしようと決めています。その今できることとして、教員免許資格を取得することと専門科目である土木の勉強をすることの二つが挙げられます。未来への選択肢を増やしておくことで、こうでありたいという姿を見つげようと考えています。私は一生懸命に頑張ったり何かを成し遂げたりすることが、未来で何かしらの形で良い方向に繋がるだろうと信じています。そのため、教員免許資格取得やどの授業の对于しても、信じてがむしゃらに勉強に向き合っています。これらの経験やこれからの出会いがどんな未来にし、どんな生活を与えてくれるのか、とても楽しみです。



では、都市計画の基礎知識から学び、将来は母国インドネシアの様々な問題点を解決のための効果的な方法を学んでいくことのできる広い視野と技術力を身に付けたいと考えています。勉強に通じて時間管理がとても大切にします。大学にはいろいろなことをやらないといけないと思いますから、または遊びや勉強の両立ができるように自分の時間管理が必要です。苦勞することがあってもどんな時でも、諦めずに頑張る気持ちが非常に必要だと思います。授業だけではなく実験やグループワークなどで勉強の取り組みができます。また、社会に出るためにチームワークやコミュニケーション力などが役にたつと思いますから大学にチームワークやコミュニケーション力を身に付けたいと考えます。

未来の人間像



ていくうちに、土木のやりがいや面白さを感じたことも理由の1つです。私はその将来の夢を達成するために、内容理解を重視した勉強方法に変えたり、社会の動きをこまめにチェックしたりしてきました。それをする中で幅広い知識が身につく、物事を広い目で見ることができると考えているからです。また、その能力がハイレベルな土木技術士には必要不可欠な要素だと思っています。私は一層社会に貢献できるように、大学院進学を決心しました。大学院の2年間で、勉学に励み知識を広げることはもちろん、説明する力やリーダーシップなどのコミュニケーション能力をより強化したいと思っています。



この人間像を目指すために、数年後、数十年後の未来を叶えようと
するよりも、『数時間後、明日の未来を考えて叶えていくこと』が大切だ
と思います。だから今は、自分ができることを精一杯頑張ります。

このページは、私たち大学院生が企画・作成したものです。ここでは、先生方やOB・OGだけでなく学生や皆様のご家族にも親しみもて、学科の在学生がどのように取り組んでいるかがわかるような会報誌にしたいと考え、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には290名の学生が在籍しています。摂南大学土木会の歴史は半世紀を超え、その中で、学生の考え方も変わってきていると思います。

そこで、学生がどんな考えを持って自分の未来を思っているのか、どのようなことに打ち込んでどんな努力をしているのかを皆様に知ってもらいたく、今回のテーマを「私の未来予想図」としました。それぞれ近い将来を意識するような内容で、目標をもって積極的に取り組んでいるように感じました。

最後に、このページの作成にご協力くださった先生方やアンケートに答えてくださった学生の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

